

令和7年度 アオコ情報（河川 No. 5）

7月31日に実施した調査の結果についてお知らせします。

- フィコシアニン濃度※¹ は、新川及び備前川がアオコレベルで最大1相当※²、土浦沖合がアオコレベルで1相当でした。

新川、備前川及び土浦沖合のアオコレベル

<新川>

- ・ 神天橋及び新港橋でアオコレベル0相当（フィコシアニン濃度：22～38 µg/L）、新川河口沖でアオコレベル1相当（フィコシアニン濃度：68 µg/L）でした。

<備前川>

- ・ 岩田橋及び竹中橋でアオコレベル1相当（フィコシアニン濃度：70～72 µg/L）、備前川河口沖でアオコレベル0相当（フィコシアニン濃度：41 µg/L）でした。

<土浦沖合>

- ・ 土浦沖合①及び土浦沖合②でアオコレベル1相当（フィコシアニン濃度：82～90 µg/L）でした。

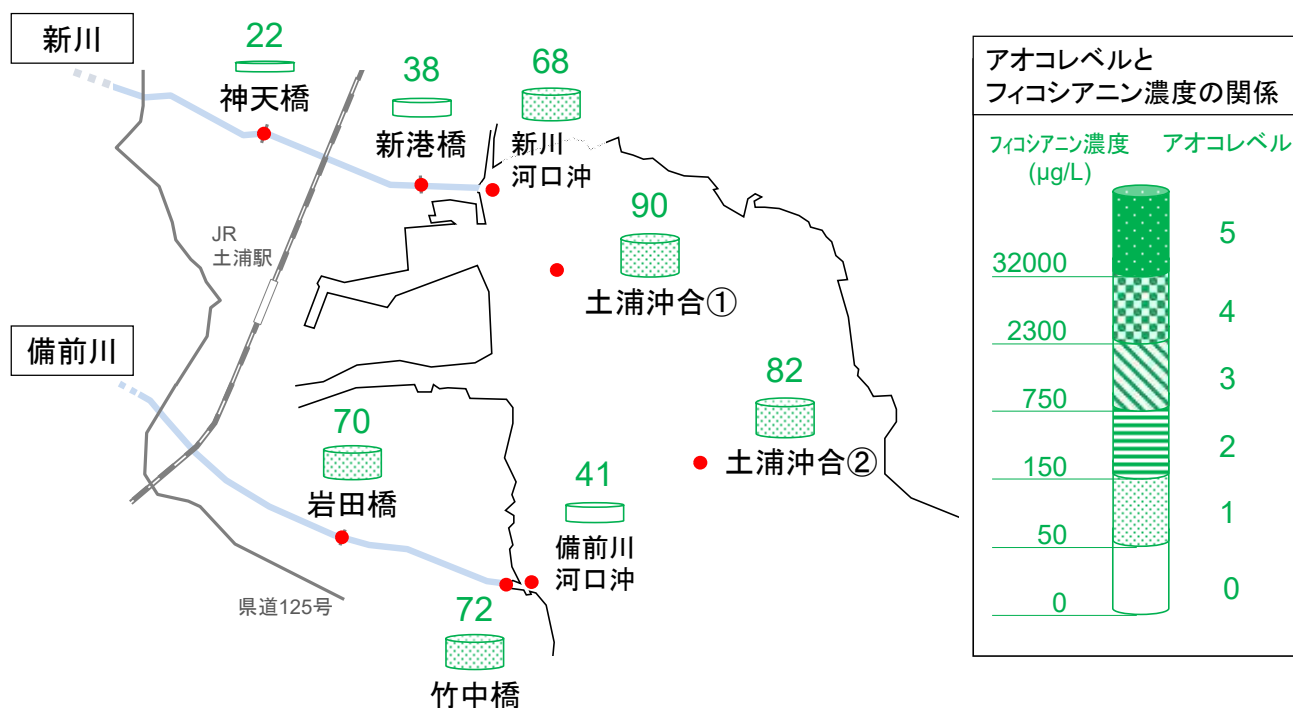


図1 フィコシアニン濃度の分布

※1 フィコシアニン

アオコの原因となる植物プランクトン（藍藻類）に含まれている色素です。フィコシアニン濃度はアオコの現存量と一定の相関があるため、アオコ現存量の目安になると考えられています。

※2 アオコレベル

アオコの発生状況を視覚的に把握するための指標です（参考：国土交通省霞ヶ浦河川事務所 HP: <http://www.ktr.mlit.go.jp/kasumi/kasumi00313.html>）。フィコシアニン濃度は、アオコレベル1で50 µg/L程度、アオコレベル2で150 µg/L程度、アオコレベル3で750 µg/L程度、アオコレベル4で2300 µg/L程度、アオコレベル5で32000 µg/L程度です（小日向ら、2012）。各レベルの写真は、別紙に掲載しています。

● 調査結果の詳細

表 調査結果

	新 川			備前川			土浦沖合	
	神天橋	新港橋	河口沖	岩田橋	竹中橋	河口沖	①	②
採水時刻	7月31日	7月31日	7月31日	7月31日	7月31日	7月31日	7月31日	7月31日
	10:59	11:15	10:20	11:48	11:58	9:57	10:13	10:05
水温(℃)	30.0	29.7	30.6	31.1	31.2	30.1	30.8	30.7
pH	8.0	7.7	8.3	8.1	8.1	9.2	8.3	8.6
EC (mS/m)	27.7	35.6	33.0	31.3	29.5	31.5	31.5	29.2
透視度 (cm)	24	26	23	14	16	16	23	21
フィコシアニン (μg/L)	22	38	68	70	72	41	90	82
クロロフィルa (μg/L)	78	79	56	121	78	41	68	58

● (参考) アオコレベル

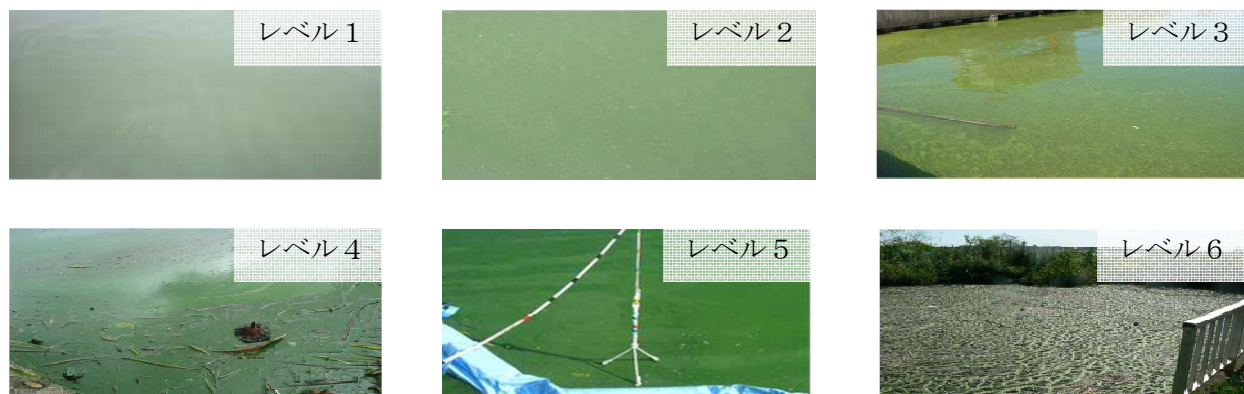


図2 アオコレベル